

「窒素循環」の図から何を伝えますか？

～持続可能な窒素利用に焦点を当てて考える～

日時 2025年3月9日（日）午後1時30分～3時30分
 話題提供者 総合地球環境学研究所 教授 林健太郎氏

みんなで脳に汗をかきましょう！

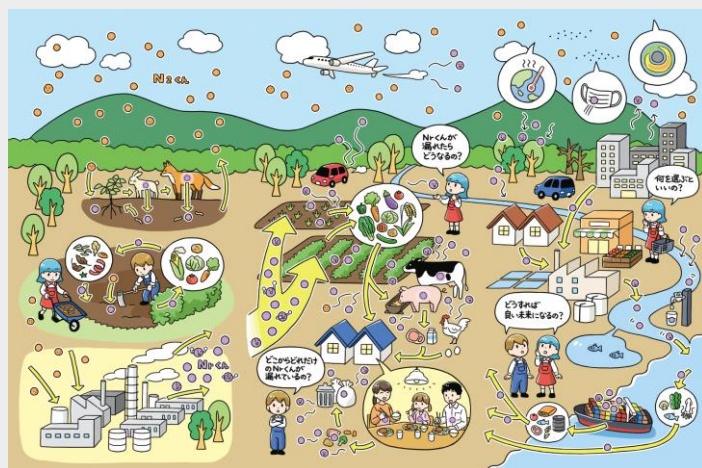
【趣旨説明】

現在の地球環境について考えるとき、生態分野の学習が重要であることは論をまちません。しかし、生態分野は学習指導要領「生物基礎」「生物」ともに最後の項目であるため、その学習に十分な時間をとることができないのが実情ではないでしょうか？

今回は、地球人間システムの共創プログラム～Sustai-N-able プロジェクトに取り組んでおられる林先生に話題提供をお願いしました。図の説明で終わってしまいがちな「窒素循環」に焦点を当てて議論する予定です。

〔プロジェクト概要説明〕より

窒素は肥料・原料・燃料として人類に大きな便益をもたらします。しかし、我々の窒素利用は意図せずに窒素汚染を引き起こし、人と自然の健康を脅かしています。このプロジェクトでは、未知が多く残る窒素の動態を解明し、窒素利用に伴う環境への負荷と影響を定量し、窒素利用の便益・脅威や対策・行動変容の効果を評価し、持続可能な窒素利用の実現に向けた将来設計を行います。



窒素問題の模式(イラストレーション：中林まどか)

※ 参加費 無料

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。

申込 QR コード→



<https://forms.gle/jLmASKoD3CSw3tXo8>

※ 参加者には、2～3日前までにズームミーティングIDとパスコードをお知らせします。

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 info@tibe.sakura.ne.jp

連絡先電話番号：090-5367-9778 (中道貞子 生物教育研究所研究員)

※ 参加者へのお願い T&D は、教師の主體的・対話的で深い学びを目指しています。当日の議論を円滑に進めるため、「疑問に思うこと」や「聴きたいこと」などを、できるだけ申込フォームにご記入ください。

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康(東京学芸大学名誉教授) HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>